

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
2. (社福)恩賜財団 母子愛育会	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 3.愛育班員等研修会 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 5.専門里親養成教育の開催	1.目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させる。自治体の保健師100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせる。自治体勤務の栄養士30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成する。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供する。医師・助産師・看護師290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高める。先天性代謝異常症等検査技術者50名 2.目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供する。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件 3.市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催10回 4.育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。 5.専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育する。100名	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。 3.愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。 5.専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。
3. (財)家庭保健生活指導センター	49.育児について相談できる環境の整備	49.*母子保健相談を実施 目的:育児不安の軽減と解消 参加人数(対象者):約20万人(妊産婦、子育て中の保護者) 開催数、方法等:240か所の母子保健相談室会場で毎週曜日を定めて開催 保健師等による対面相談方式 効果、その他:地域の連帯感が薄れ、身近に相談相手の少ない状況下において、当相談室の果たす役割は大きい	49.*母子保健相談を実施 前年と同規模での開催を計画

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
4. (社)国民健康保険中央会	取組は特になし		<p>・子供と高齢者が交流し、楽しく暮らせる町づくり ＊情報収集・分析・検討 国保中央会、国保連合会が支援にあたった市町村の取組みをを把握し、今後の戦略的取組みの検討を行う。</p>
5. 子どもの心・体と環境を考える会	子どもの心と身体の健全な発達に関する学際的なエビデンスの集積	<p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻1号発行第3回学術大会の講演(「健康な学校」「何故、今、行動療法なのか」)およびシンポジウム(「子どもの健康と学校」「アレルギーと学校生活」)について、演者が論文化した研究会誌200部を発行、配布した。</p> <p>第4回学術大会開催 平成14年11月22日(金)23日(土)の両日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて開催。参加人数約200名。「新しい世紀を担う子どもの健全な育成のために」をメインテーマとし、2つのシンポジウム、4題の講演、4セッション13題の一般演題発表が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム : 「なぜ、今、子育て支援か」 ・シンポジウム : 「わが国の将来を担う子どもの健全な育成のために」 ・特別講演 : 「新しい世紀を担う子どもを遅く育てるために」 ・会長講演: 「病気を通してみる子育ての問題点とその解決法」 ・特別講演 : 「子育ての臨界例 - 神経科学的見地からの考察」 ・教育講演: 「学校教育の体質転換をめざして」 <p>・その他一般演題では、「小児科診療における心理療法の適用と効果に関する検討」「気管支喘息児を養育する母親の対処行動」「メッセージボード インターネット にみる子育て相談について」等、(課題4)に関連した研究報告がなされた。</p> <p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻2号発行第1回回テーマ別研究会“質的研究”(「質的研究 その概要と保</p>	<p>第5回学術大会開催 河野陽一大会長(千葉大学大学院医学研究院小児病態学・教授)の下、平成15年12月12日(金)13日(土)に第5回学術大会を開催予定。参加人数200名程度を予定。</p> <p>会員の質的向上を目指した研究会「テーマ別研究会」において、子どもに関する、研究や実践に役立つ課題を取り上げる。研究会誌「子どもの健康科学」第4巻 第1号・第2号を発行する。</p> <p>会員相互の情報交換・意見交流を目的としたメーリングリストの活用。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
6. 児童虐待防止協会	<p>45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進</p> <p>47.子どもを虐待していると思う親への支援の強化</p> <p>58.育児不安・虐待親のグループの活動への支援</p>	<p>45.*「Child Abuse研究会」の開催</p> <p>目的:虐待に関わる専門職や学生を対象に、虐待への理解を深め支援のあり方をともに学ぶ場を提供する。</p> <p>回数:年間4回開催 講演会2回、シンポジウム1回、報告会1回</p> <p>参加人数:50名~150名</p> <p>効果:平成2年より通算118回に亘り虐待について、虐待についてさまざまな角度から取り上げてきているので、虐待への理解を深め、虐待予防の推進に貢献したと思われる。</p> <p>47.* 子ども虐待に関する電話相談事業</p> <p>目的:「子どもの虐待ホットライン」は、孤立的な状況でストレスを抱えながら子育てをしている母親からのSOSに応じ、子育てへの支援を強化することを目的にしている。</p> <p>相談件数:2866件(虐待に関する相談 1597件、虐待予防相談 866件)</p> <p>日数、方法等:月~金(PM11:00~AM5:00)電話3台で応じている</p> <p>内容:虐待相談に関しては、虐待者、被虐待者、目撃者に分類され、虐待予防相談は、育児・しつけ、子どもの発達・行動、対人関係、精神保健に分類しているが、年々内容は複雑・多様化してきている。</p> <p>効果:電話相談は、子ども虐待や援助にとって重要な役割を果たしている。電話相談の一つ目の機能は、子育て中の親が、虐待についても対面では言い出せない場合に匿名で相談にのれること、また、感情が混乱し自分でコントロールできなくなった時に、身近な電話を通して即相談にのることができるといった匿名性と利便性ある。</p> <p>又、電話相談は、虐待の発見・初期対応という重要な役割を担っている為、機関連携との連携を深めることを目的に、「関係機関懇話会」、「関西虐待防止電話相談連絡会</p>	<p>45.*「Child Abuse研究会」の開催(年間4回開催予定)</p> <p>*研修会の開催</p> <p>目的:学校の教職員を対象に、夏季の長期休暇の間に虐待について、虐待への理解を深め、早期発見・対応、支援のあり方を学び、日々の教育実践に役立つ研修をじっしする。</p> <p>対象:大阪府下の小・中・高等学校、養護学校の教職員 100名を予定(大阪府教育委員会が、平成15年度教職員自主研修支援「大学等オープン講座」適用による後援)</p> <p>47.* 子ども虐待に関する電話相談事業の継続実施</p> <p>前年と異なる内容:精神科領域の医師との連携の強化</p> <p>*ポスター・リーフレットの作成</p> <p>大阪府下の公的機関に掲示、配布することにより、電話相談の存在をPRし、虐待予防に貢献したい。</p> <p>58.* マザーグループへの支援</p> <p>前年度と異なる内容:医療福祉事業団子育て支援基金助成金により「虐待傾向のグループの質的向上を図る事業」を実施、グループの意義、有効性、限界等について報告書を作成する。</p> <p>*「ペアレンティングを支える会」の開催</p> <p>前年後と異なる内容:事例検討会の開催(年間4回開催予定)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
6. 児童虐待防止協会		<p>58.* マザーグループへの支援 目的:子育て困難な母親を対象として、虐待への移行や虐待の進行を防止するために、グループワークの手法を用いて子育てを支援する。 グループの開催回数等:14年度は、8ヶ所の保健所・保健センターからの要請に応じてマザーグループに19人のスタッフを派遣した。グループの形態は、地域の状況により若干異なるが、一番多い形は、1回8～10セッション、1セッション1時間30分で母子分離の形態をとっている。 効果、課題:グループの有効性については、“自分ひとりではないと感じた”“外に出るのがこわくなくなった”“子どもを叩くことが減った”等母親自身がエンパワーされ、機関に上手にSOSが出せるようになることが、虐待の予防に繋がると感じているところである。グループの評価基準等は今後の課題である。協会が主催がした「母親のケアを考える会(マザーグループ交流会)」では、100名近い参加者がありグループへの関心の高まりが感じられた。 *「ペアレンティングを支える会」の開催 目的:ペアレンティングは、アメリカやカナダにおいて虐待の予防や再発防止に関して、最も普及されている支援方法であると云われているが、日本においては、系統だった理論や支援方法がまだ確立されたものがない。3年計画でペアレンティングについての理解を深め、実践的に取り組みたいと考えている。 「勉強会」朝日新聞厚生文化事業団と共催で4回実施 固定メンバー20人(会場:朝日新聞本社地下会議室) 講演会「カナダの家族支援とペアレンティング」の開催</p>	
8. 全国児童相談所長会	「児童虐待防止法」の見直しに向けて	<p>「児童虐待防止法」の見直しに向けて ・全体協議会にて講演会、シンポジウム実施 ・「児童虐待の対応の実態調査」アンケート実施</p>	<p>「親子サポート」(予定) ・全体協議会にて意見交換会等を実施(予定)その他未定</p>
9. 全国児童相談所心理判定員協議会		<p>・虐待相談の心理アセスメント検討 ・保護者の指導プログラム作成検討 ・児童養護施設ケアワーカーや心理職との連携</p>	<p>・虐待相談の心理アセスメント検討 ・保護者の指導プログラム作成検討 ・児童養護施設ケアワーカーや心理職との連携 ・地域心理職との連携 以上を会報によって情報交換、意見発信する</p>
10. 全国市町村保健活動協議会(NPO)		<p>課題1 - 記述と共通 課題1 - 記述と共通 課題1 - 記述と共通するほか、同専門研修会において、「育児不安・虐待予防への取り組み」をテーマとして、厚生労働省健康局疋田保健指導専門官を助言者に迎え、グル - プディスカッションを行った。</p>	<p>機関誌「全保協ニュース」(隔月発行)において課題のテーマに関する中央及び地方の情報伝達を行う。 調査研究事業として適切なテーマを探求し、アンケート調査及び実地調査を行い、これを広報する。 全国研修会を開催し、講演、シンポジウム、グル - プディスカッションなど多彩な組合せの中に、課題のテーマをおりこみ、有識者の指導を受ける</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
11.全国社会福祉協議会	44.45.46.47.48.49.58	<p>1.児童虐待防止事業の実施 (1)助成事業を実施 目的 市区町村社会福祉協議会において、児童虐待防止事業として民生委員児童委員協議会、児童福祉施設および関係機関・団体とともに子育て相談、子育て体験、子育てサロン等の実施促進をはかる。 助成社協数 28都道府県 53市区町村社会福祉協議会 実施方法 地域における児童虐待問題に対応するために、市区町村社会福祉協議会に「児童虐待防止連絡会」を設置し、児童関係機関・団体等との情報交換や協働活動の実施等日常的な連携を図った。この連絡会の構成は、民生委員児童委員協議会、保育所などの児童福祉施設および市町村主管課、児童相談所、保健所・保健センター、学校、警察署、地域の各種団体(住民組織、ボランティア団体等)などから構成した。 さらに、上記の連絡会の開催に加えて、 ア.児童委員・主任児童委員による子育て家庭への訪問活動 イ.子育て家庭に身近な場での「子育て相談」や子どもからの相談の対応 ウ.地域における「子育て体験」の実施 エ.小地域における「子育てサロン」活動の実施 オ.小地域における児童虐待予防・対応等の「研修会」の実施 カ.子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり気運の醸成 キ.その他地域の特性を踏まえた子育て支援活動等の事業を実施した。</p>	<p>1.児童虐待防止事業の実施 (1)助成事業を継続実施 目的 市区町村社会福祉協議会において、児童虐待防止事業として民生委員児童委員協議会、児童福祉施設および関係機関・団体とともに子育て相談、子育て体験、子育てサロン等の実施促進をはかる。 助成社協数 14年度実績のない19府県 実施方法 地域における児童虐待問題に対応するために、市区町村社会福祉協議会に「児童虐待防止連絡会」を設置し、児童関係機関・団体等との情報交換や協働活動の実施等日常的な連携を図る。この連絡会の構成は、民生委員児童委員協議会、保育所などの児童福祉施設および市町村主管課、児童相談所、保健所・保健センター、学校、警察署、地域の各種団体(住民組織、ボランティア団体等)などから構成とする。 さらに、上記の連絡会の開催に加えて、 ア.児童委員・主任児童委員による子育て家庭への訪問活動 イ.子育て家庭に身近な場での「子育て相談」や子どもからの相談の対応 ウ.地域における「子育て体験」の実施 エ.小地域における「子育てサロン」活動の実施 オ.小地域における児童虐待予防・対応等の「研修会」の実施 カ.子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり気運の醸成 キ.その他地域の特性を踏まえた子育て支援活動</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
11.全国社会福祉協議会		<p>2. 地域における子育て支援の推進</p> <p>(1) 児童福祉施設のあり方研究</p> <p>目的 入所者の変化や社会の要請等を受けて、各種別協議会において施設のあり方等の検討を行い、児童福祉法等の改正に向けての取り組みを行った。</p> <p>取組み団体</p> <p>ア. 全国児童養護施設協議会 「制度検討委員会小委員会」(委員長:東洋大学教授古川孝順氏) 児童虐待を大きな柱とする今日の子ども、家庭をめぐる問題への対応を図るため、児童養護施設のあり方検討を行い、社会的養護サービスの再編や子育て支援システムの改革の必要性を含めた「児童養護施設近未来像」を作成した。</p> <p>イ. 全国乳児福祉協議会 「21世紀の乳児院のあり方を考える特別委員会」(委員長:明治学院大学教授山崎美貴子氏)において、虐待を受けた乳幼児の養育・治療を行う機能、地域の子育て支援活動を行う機能等を検討し、報告書(提言)をとりまとめた。</p> <p>ウ. 全国母子生活支援施設協議会 全母協では、「母子生活支援施設のあり方検討委員会」(委員長:明治学院大学松原康雄教授)を立ち上げ、最近の母子及び児童福祉の新たな潮流を視野に含めたサービスの「標準化」を目的に母子生活支援施設のあり方について検討した。</p>	<p>2. 地域における子育て支援の推進</p> <p>(1) 「ふれあい・子育てサロン」活動の開発のための調査研究事業</p> <p>目的 本事業ではこれまでの2年間で、子育てサロンの活動実態の把握、活動マニュアルおよびビデオの作成、新規子育てサロンの立ち上げなどに取り組んできた。本年度は、子育てサロンの取り組みが進んでいない都道府県・指定都市における新規の子育てサロンの立ち上げ、および学齢期の児童や障害児などの多様なニーズへの対応や、参加者の持つ問題を解決につなげる機能を重視した子育てサロンなどの立ち上げを図る。また新規子育てサロンの立ち上げのために、子育てサロンの担い手を養成する研修カリキュラムを開発する。さらに、3か年計画の最終年度にあたり、子育てサロンの全国的な実施状況等を調査し、3年間の調査研究事業の成果等を測定するとともに、全国的なフォーラムを開催し、調査研究結果の周知・普及を図るものである。</p> <p>前年と異なる内容</p> <p>子育てサロンの担い手養成研修カリキュラムの策定および教材の作成</p> <p>子育てサロンの一層の普及を図るため、子育てサロンの担い手となる地域住民やボランティア、当事者である親などを対象に、サロンを運営していくうえでの手法等について学ぶ研修カリキュラムおよ</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
11.全国社会福祉協議会		<p>(2)「ふれあい・子育てサロン」活動の開発のための調査研究事業 セミナーの開催</p> <p>ア. 目的 「子育てサロン」活動の全国的な普及のため、調査研究事業の成果をふまえて開催</p> <p>イ. 開催回数 1回</p> <p>ウ. 参加人数 230名</p> <p>エ. 対象者 都道府県・指定都市行政および市区町村行政関係者、都道府県・指定都市社協および市区町村社協関係者、児童委員・主任児童委員、子育てを支援する団体・サークル等関係者、その他、地域における子育て支援に関心のある者</p> <p>活動推進マニュアルの作成・配布(支援者向けマニュアル)</p> <p>ア. 目的 「ふれあい・子育てサロン」活動の立ち上げ、運営を側面的に支援していくためのマニュアルの作成。</p> <p>イ. 配布対象者 市区町村社協・市区町村民生委員・児童委員協議会</p> <p>ウ. 配布部数 約7,000部</p> <p>活動のてびきの作成・配布(地域住民向けマニュアル)</p> <p>ア. 目的 「ふれあい・子育てサロン」活動の立ち上げ、運営していくための手引きを作成。</p> <p>イ. 配布対象者 「ふれあい・子育てサロン」活動を希望する地域住民</p> <p>ウ. 配布部数 約136,000部</p> <p>活動紹介ビデオの作成・配布</p> <p>ア. 目的 「ふれあい・子育てサロン」活動の様子などを紹介するビデオを作成、全国の市区町村社協等へ配布することで、全国的な普及を図った。</p> <p>イ. 配布対象者 市区町村社協・市区町村民生委員・児童</p>	<p>子育てサロンの立ち上げ支援</p> <p>20都道府県・指定都市推進県(市)社協に委託し、市区町村社協の協力のもと新規の子育てサロンの立ち上げに取り組む(1県につき2サロン程度)とともに、今後の管内における子育てサロン普及にむけての計画づくりを行う。</p> <p>子育てサロン活動全国実態調査の実施について</p> <p>子育てサロンの全国的な実施状況等を調査し、3年間の調査研究事業の成果等を測定する。</p> <p>全国フォーラムの開催</p> <p>3年間の研究成果および実践事例の報告を行う全国フォーラムを開催し、子育てサロンの全国的な普及・啓発を図る。</p> <p>(2)保育所の子育て支援に関する取組事業</p> <p>目的 保育士の国家資格化を機に、保育士の専門性を発揮するとともに、地域における子育て支援システムの構築等を目指す。</p> <p>シンポジウムの開催</p> <p>ア. 対象者 一般市民、保育所関係者</p> <p>イ. 開催数 2カ所程度</p> <p>キャンペーンの実施各都道府県等の保育士会が実施する事業を支援することなどを目的に、以下の事業に取り組む</p> <p>ア. キャンペーン&保育士PRのポスター作成</p> <p>イ. 保育士制度改正に伴う新しい保育士研修プログラムの実施都道府県等保育士会が展開するメニュー事業のサポート</p>
11.全国社会福祉協議会		<p>効果 現地視察および推進県(市)社協における調査によって、「ふれあい・子育てサロン」活動を立ち上げ、運営していく具体的手順・留意点等を明らかにした。</p> <p>社協職員や民生・児童委員など「ふれあい・子育てサロン」活動を側面的に援助し推進していく支援者向けマニュアル、「ふれあい・子育てサロン」活動を主体的に担っていく地域住民やボランティア向けのマニュアル(てびき)、「ふれあい・子育てサロン」活動の雰囲気や実際の様子を紹介するビデオを、全国の市区町村社協や民生委員児童委員協議会などに配布することにより、「ふれあい・子育てサロン」活動の取り組みが全国的に広まることが期待され</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会		<p>公開研修会 「『引きこもりと家庭内暴力』に関する関係職員研修会」 (対象:児童施設職員・児童相談所・教育相談機関・医療機関等)</p> <p>・第1回 平成14年8月7日(於:名古屋クラウンホテル) 演題:「引きこもりの子どもと親への支援」 講師:青木省三氏 川崎医療大学 教授(精神科医師)</p> <p>・第2回 平成14年10月31日(於:ヴィアール大阪) 演題:「ひきこもりとその家族に向き合う」 講師:花田雅徳氏 近畿大学 教授</p> <p>・第3回 平成14年11月12日(於:仙台市シルバーセンター) 演題:「『社会的ひきこもり』へどう社会的援助を組むか」</p> <p>総合司会:米川文雄氏 小松島子どもの家 園長 司会:大坂 純氏 白百合女子大学 助教授 講師:飯室 勉氏 仙台ダルク 施設長 石川 達氏 東北会病院 副院長(精神科医師)</p>	<p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第40回) ・平成15年7月7日(水)～9日(金) ・基調講演、パネル討論、分科会症例研究、ワークショップ、特別講演、施設見学 ・於:ホテル・ニュータナカ 開催担当:山口県みほり学園</p> <p>心理治療部会研修会(第24回) ・平成15年10月16日(木)～17日(金) ・テーマ「広汎性発達障害に対する理解」 「有効的な親へのケア家族の支援」 ・基調講演、症例研究、シンポジウム、特別講演、施設見学 ・於:ホテル・サンルート彦根 開催担当:さざなみ学園(滋賀県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会		<p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第39回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年8月7日(水)～9日(金) ・基調講演、パネル討論、分科会症例研究、ワークショップ、特別講演、施設見学 ・於:名古屋クラウンホテル 開催担当:愛知県立ならわ学園 <p>心理治療部会研修会(第23回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年10月10日(木)～11日(金) ・テーマ「児童虐待と発達障害」 ・基調講演・施設見学・症例研究・特別講演 ・於:五色台国民休暇村 開催担当:四恩の里若竹学園 <p>生活指導部会研修会(第23回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年10月31日(木)～11月1日(金) ・テーマ「児童虐待における保護者・子どもへの援助的関わりについて」 ・基調講演・症例研究・シンポジウム・特別講演・施設見学 ・於:ヴィアール大阪 開催担当:大阪市立児童院 <p>研究紀要の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年3月末(編集:京都市青葉寮) ・「心理治療と治療教育」第14号 相談担当者向けハンドブックの発行(2万冊) ・平成15年3月末(編集:全国情緒障害児短期治療施設協議会相談担当) 	<p>生活指導部会研修会(第24回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年9月18日(木)～19日(金) ・テーマ「生活と自己主張」 ・基調講演、分科会症例研究、討論、施設見学 ・於:小松島子どもの家 開催担当:小松島子どもの家 <p>研究紀要の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年3月末(編集:愛知県立ならわ学園) ・「心理治療と治療教育」第15号 情緒障害児短期治療施設自主評価基準作成 ・平成15年度6月

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	46.48.52	<p>第38回全国助産師教育協議会総会を開催 期間：平成14年5月24日（金）～25日（土） ・本会発行の「我が家に赤ちゃんがやってきた」及び「参加型育児学級の企画運営マニュアル」の中国語版を近藤会長が作成・発行した。（平成13年12月） ・「助産基礎教育におけるコア内容」の検討結果、「助産基礎教育の到達目標からみた教育内容・方法の検討 助産診断技術学：「産褥、新生児」」の検討結果、「卒後、助産師がもつべき能力の獲得について」卒後3年目までの教育プログラムの開発」についての調査結果等の報告がされた。 全国助産師教育協議会発行 ・NEWS LETTER No.35 2002. 5. 10では、ママに安らぎの時間をくださいと、地域の癒しの空間となっている薫助産所で行われている、助産師 小曾根秀実さん（群馬）の「お母さんと赤ちゃんへ癒しケアをプレゼント」を紹介した。 ・NEWS LETTER No.36 2002. 8. 1では、「いっぱい愛情と、自分の感性をいかした、自分らしい子育てを」と、産後の母親たちと関わる助産院エ・ク・ボの高室典子さん（札幌）を紹介した。 ・NEWS LETTER No.37 2002. 11. 15では、本人もふたごの母親であるという岸本長代さん（倉敷）により、倉敷成人病センターの多胎の家族のための育児学級「すくすく学</p>	<p>第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間：平成15年5月17日（土）～18日（日） 場所：東京都立保健科学大学会員に対して「健やか親子21」の活動状況を報告する。 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事を取りあげる。 委託検討課題 ・現在行っている産褥・新生児の能力達成目標の検討、および教育方法モデルの検討を継続する。 ・参加者主体の保健指導方法について、今年度の研修会テーマに取り上げる。</p>
15. 全国保健所長会	45.46.47.55.58	<p>「児童虐待予防対策における保健所の役割に関する研究」（地域保健総合推進事業、事業分担者 東京都多摩立川保健所長 長野みさ子）の中で次のテーマで実施。 45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 子どもの虐待予防活動の展開：東京都南多摩保健所特別区における児童虐待対策のシステムづくり：練馬区保健所 子ども虐待対応地域システムづくり：石川県石川中央保健所 子どもの虐待問題の都道府県及び市町村における解決システム：東京都多摩立川保健所 46.子育てに自信が持てるような支援の推進 子育てグループママさん事務局～当事者とともに企画運営した虐待防止講座：東京都立川市 育児学級「たけのこ」-セルフエスティームを利用したグループ活動：東京都国分寺市 47.子どもを虐待していると思う親への支援の強化 母と子の虐待予防教室開催事業：神奈川県平塚保健所 マザーグループ事業における保健所の果す役割：大阪府富田林保健所 55.育児支援に重点をおいた乳幼児健診の実施の推進 乳幼児発達相談指導事業：鹿児島県川内保健所</p>	<p>45.47.55.58 「児童虐待予防対策における保健所の役割に関する研究」（地域保健総合推進事業、事業分担者：東京都多摩立川保健所長 長野みさ子）において実施。前年度に引き続き、研究班を組織し、モデル事業を実施することに加えて、全国の保健所への普及啓発を目指して、九州地区と東北地区の2箇所で開催し、関係機関とのシステムづくりや育児不安への支援を推進するための乳幼児健診のあり方やグループ活動等について意見交換し、課題や問題点を検討する。 参加保健所 東京都多摩立川保健所、東京都多摩川保健所、東京都南多摩保健所、千代田区保健所、練馬区保健所、宮城県石巻保健所、石川県石川中央保健所、神奈川県平塚保健所、大阪府富田林保健所、大分県宇佐高田保健所、他</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
16.(社)全国 保健センター連 合会	45.46.47.48.49.50.51.53.55.58.61	<p>*研修会(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.母と子のこころの健康づくり中央研修会(80名参加) 目的:健やか親子21を踏まえ、乳幼児期の育児支援のための講義・実習、「遊びの教室」等の事例発表・討議により、市町村における育児支援強化を図る。 地区:東京都(東京厚生年金会館)、期日:平成15年2月20日・21日</p> <p>2.ブロック別母子保健事業担当者研修会(延べ1,049名参加) 目的:第4課題を母子保健関係者に周知徹底し、地域における育児支援のレベルアップを進める。 地区(6地区):北海道・秋田県・東京都・京都府・高知県・福岡県</p> <p>3.東西ブロック別母子保健体操普及指導講習会 目的:市町村において実施される「遊びの教室」等での遊びの意義や実践方法を取得する。 東ブロック:平成14年9月5日・6日 茨城県(72名参加) 西ブロック:平成14年7月25日・26日 奈良県(59名参加)</p> <p>*研究(テーマ:上記のいずれも該当) 「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の検討 健やか親子21第4課題のテーマを踏まえ、子育て支援システムにおけるモデル地区を設定。それぞれの地区における実状を分析・検討。 *絵本と出会う・親子ふれあい事業(テーマ:46・48・50・54・55)絵本を媒体に親子のコミュニケーションを育み、地域の育児支援ネットワークを広げる。</p>	<p>*研修会を実施(テーマ:上記のいずれも該当)</p> <p>1.親と子のこころの健康づくり中央研修会(旧称:母と子のこころの健康づくり中央研修会) 目的:保健センターを拠点とする子育て支援推進を目的として、子どものいる家庭支援・こころの健康づくりをテーマに、現代の育児問題と対応策について研修する。 地区:東京都 期日:平成16年2月(予定)</p> <p>2.ブロック別母子保健事業担当者研修会 目的:第4課題を母子保健関係者に周知徹底し、地域における育児支援のレベルアップを進める。 地区(6地区):北海道・岩手県・埼玉県・三重県・鳥根県・福岡県</p> <p>3.東西ブロック別親と子のいきいき学級セミナー(旧称:母子保健体操普及指導講習会) 目的:健やか親子21推進の一環として、親になるための準備として「両親(母親)学級」のプログラミング・実習(妊産婦体操等)等の支援方法を研修する。 東ブロック:平成15年7月24日・25日 福島県 西ブロック:平成15年6月5日・6日 鳥根県</p> <p>*研究(テーマ:上記のいずれも該当) 「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の検討 モデル地区の充実を図りつつ、各推進協議会参加団体・関係者からの協力のもと、子育て支援ネットワークについてのデータベースの作成等をすすめる。 *絵本と出会う・親子ふれあい事業(テーマ:46・48・49・50・54・55)絵本と媒体に、親子のコミュ</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
16.(社)全国保健センター連合会		1.モデル事業 60地区(保健センター)を設定 2.親子ふれあいフォーラム「絵本と出会う」開催 地区(2地区):岩手県・兵庫県 岩手県:平成14年10月31日、岩手県自治会館(105名参加) 兵庫県:平成15年1月31日、兵庫県民会館(246名参加) 3.事業キャンペーン用パンフレット「絵本と出会う」頒布 4.家庭用パンフレット「絵本と赤ちゃん」作成・頒布 3・4ともに、保健センター、都道府県、図書館、児童館等に頒布 *出版物等(テーマ:上記のいずれも該当) 1.広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載 2.子育て関係のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布 3.プレイコーナー備品(育児用遊具)の配分整備 *ホームページによる情報提供(テーマ:上記のいずれも該当)全保連ホームページに全国の保健センターのホー	1.教育ビデオ制作と配信 2.東西ブロック別「絵本と出会う」親子ふれあいフォーラム開催 3.事業キャンペーン用パンフレット「絵本と出会う」改訂増刷・頒布 4.家庭用パンフレット「絵本と赤ちゃん」頒布 3・4ともに、保健センター、都道府県、図書館、児童館等に頒布 *出版物等(テーマ:上記のいずれも該当) 1.広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載 2.子育て関係のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布 3.プレイコーナー備品(育児用遊具)の配分整備 *ホームページによる情報提供(テーマ:上記のいずれも該当) 1.全保連ホームページに全国の保健センターのホームページをリンク
20.(社)日本医師会	45.49 45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備	45.「児童虐待の早期発見と防止マニュアル-医師のために」刊行 日本医師会会員16万人に配布するとともに市販(明石書店) 49.出産前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)モデル事業報告書作成 平成13年度に全国46地域で実施したモデル事業の結果を踏まえて、出産前小児保健指導事業の推進にあたっての	病後児保育の推進

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
21.(社)日本 栄養士会	46.子育てに自信が持てるような支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備 60.栄養・食生活の改善	<p>*「子どもの食事・親子連続講座」(3回連続講座)を実施 目的:食べ物を大切にすることを育むと同時に食事の重要性について親子で認識できる機会を設け、正しい食習慣形成や健全な親子関係への支援を行う。 参加対象者:3歳～就学前のお子さんとその保護者約20組 開催数:宮城県・栃木県・新潟県・島根県・香川県にて各々3回連続講座。 開催内容:親子簡単クッキング、食教育、食事相談コーナー 効果:食の楽しさと食の大切さを理解していただくことができた。親子間や同年代の子どもとその保護者とが交流できる機会を設けたことにより、食事相談が気軽にできる機会となった。 保育所を利用したことにより、地域の方に保育所を知ってもらうことができたこと、保育所職員の協力や食に対する理解が深められ、地域に密着した子育て支援活動を推進するための一つの足がかりとなった。 *「児童福祉施設におけるクッキング講座」を実施 目的:摂取不足の栄養素(カルシウム等)の重要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。 参加対象者:児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員等 開催数:秋田県・福島県・茨城県・石川県・静岡県・愛知県・京都府・兵庫県・岡山県・長崎県にて各2回ずつ実施。 開催内容:スキムミルクを使用した調理実習と「食育」に関する講演を行う。 効果:新たなメニューの学習や調理技術、各種最新情報</p>	<p>*「子どもの食事・親子連続講座」(3回連続講座)を実施 目的:平成14年度に引き続き、食べ物を大切にすることを育むと同時に食事の重要性について親子で認識できる機会を設け、正しい食習慣形成や健全な親子関係への支援を行う。 参加対象者:3歳～就学前のお子さんとその保護者約20組 開催数:北海道・埼玉県・兵庫県・岡山県・高知県にて各々3回連続講座。 開催内容:親子簡単クッキング、食教育、食事相談コーナー *「児童福祉施設におけるクッキング講座」を実施 目的:平成14年度に引き続き、摂取不足の栄養素(カルシウム等)の重要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。 参加対象者:児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員等 開催数:宮城県・栃木県・神奈川県・福井県・長野県・岐阜県・島根県・広島県・香川県・宮崎県にて各2回ずつ実施。 開催内容:スキムミルクを使用した調理実習と「食育」に関する講演を行う。 *「児童福祉担当栄養士研修会」を実施 目的:栄養士の専門性の研鑽を図り、子どもの栄養管理、多様化する保育への対応、地域の子育て支援に生かし、わが国の児童福祉の発展向上に寄与することを目的とする。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
21.(社)日本 栄養士会		<p>*「児童福祉担当栄養士研修会」を実施 目的:栄養士の専門性の研鑽を図り、子どもの栄養管理、多様化する保育への対応、地域の子育て支援に生かし、わが国の児童福祉の発展向上に寄与することを目的とする。 参加対象者:児童福祉施設勤務管理栄養士・栄養士、市町村児童福祉行政担当管理栄養士・栄養士 参加人数:東京会場(195名)大阪会場(246名) 開催内容:「食育」に関する講演と事例報告。 効果:乳幼児期からの「食育」の必要性を理解し、保育所や地域でのネットワークづくり、「食育」活動の取り組みの方策を学ぶことができた。 *「食育リーフレット」を活用した食育 目的:食育リーフレットとアンケートを活用し、その結果から家庭の食事の様子・親子関係を把握して、次の指導に反映させる。 参加対象者:保育所あるいは地域の保護者 配布枚数:6216枚(希望者) 配布方法:講演会、懇談会、調理実習、行事等の食教育の教材として使用。 効果:リーフレットを活用することにより、食育の導入をスムーズにすることができた。家族で食事をする大切さを伝え、子ども・家族の健康について考えるきっかけとな</p>	<p>参加対象者:児童福祉施設勤務管理栄養士・栄養士、市町村児童福祉行政担当管理栄養士・栄養士 開催場所:東京会場・大阪会場 開催内容:「食育」に関する講演と事例報告。 *「食育リーフレット」を活用した食育 目的:食育リーフレットとアンケートを活用し、その結果から家庭の食事の様子・親子関係を把握して、次の指導に反映させる。 参加対象者:保育所あるいは地域の保護者 配布方法:講演会、懇談会、調理実習、行事等の食教育の教材として使用。 * 保育所栄養士業務の実態調査 目的:保育所における食育の実践の状況を把握し、有効事例を広報する。 対象者:基礎調査 保育所栄養士(無作為)1,000名~2,000名 個別調査 食育を実践している保育所栄養士 * 保育所栄養士業務マニュアルの作成 目的:保育所栄養士が円滑かつ適切な栄養管理を行うためのマニュアルを作成し、適切な業務遂行の一助とする。</p>
22.(社)日本 家族計画協会	(別紙参照)	(別紙参照)	(別紙参照)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会	<p>45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進</p> <p>48.親がゆったりした気分で子どもと過ごすための支援の推進</p> <p>53.周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立</p>	<p>45.1. 基本的知識の普及と啓発 (目的) 子ども虐待の早期予防・早期発見・支援における看護職の役割の検討および情報の提供 (内容)「看護職による子どもの虐待予防と早期発見・支援に関する指針」の作成と配布25,000部 配布先: 県協会、会員施設、保健所・保健センター、児童相談所、市町村等</p> <p>2. 児童虐待予防活動と連携に関する手引きの作成と配布 (目的) 子ども虐待の基本的知識の充実と普及啓発・虐待の予防・発見・支援に関する看護職の能力向上 (内容)「看護職のための子どもの虐待予防&ケアハンドブック」の作成 25,000部 配布先: 県協会、会員施設、保健所・保健センター、児童相談所、市町村等</p> <p>3. 看護職者間の連携促進とネットワークづくり (目的) 子ども虐待対策における看護職の連携促進 (内容)「子ども虐待予防交流会」の開催 日時: 平成15年2月8日 東京全共連ビル 参加者: 医療・保健・福祉の現場で子ども虐待対策に取り組む看護職 151名</p> <p>4. 児童虐待に取り組む医療機関の聞き取り調査 (目的) 医療機関における児童虐待の可能性を発見した際の対応やケアについて実態を把握し、看護師の役割を考える。今後の取組みの資料化をはかる。 (内容) 全国6地区から児童虐待に取り組んでいる6つの医療施設の現状について、訪問し聞き取り調査を実施。今後の活動内容を検討・方向性をまとめた。</p>	<p>45.1. 看護職者間の連携促進とネットワークづくり (目的) 子ども虐待対策における看護職の連携促進 (内容)「第2回子ども虐待予防対策交流会」の開催 日時: 平成16年2月頃 対象者: 医療・保健・福祉の現場で子ども虐待対策に取り組む看護職200名</p> <p>46.1. 子育て支援と看護職者の役割(看護教育・研究センター/清瀬・神戸) (目的) 現代社会における子育ての現状と子どもの虐待の背景を理解し、子育て支援における看護職の役割を考える。 (内容) 現代社会における子育ての現状 ・子どもの虐待の現状と家族支援 ・母子保健対策 ・看護職に期待される役割 ・子育て支援に関する連携の実際 (日時) 平成15年7月17日～18日<2日間>(神戸) 定員100名 平成16年1月29日～30日<2日間>(清瀬) 定員100名</p> <p>48.1. 子どもと家族への看護・支援(神戸研修センター) (目的) 現代の子どもに関する社会的現象を理解し、入院生活を送る子どもとその家族への看護の役割を考える。 (内容) 小児看護における家族支援(その意義と課題) ・子どもの成長発達とQOL ・小児疾患と治療の現状 ・看護者と療育者の役割機能 (日時) 平成15年11月17日～18日 <2日間>(神戸)</p>
24.(社)日本看護協会		<p>48.1. 子どもと家族への看護・支援(看護教育・研究センター/清瀬・神戸) (目的) 現代の子どもに関する社会的現象を理解し、入院生活を送る子どもとその家族への看護の役割を考える。 (内容) 小児看護における家族支援(その意義と課題) ・子どもの成長発達とQOL ・小児疾患と治療の現状 ・看護者と療育者の役割機能 (日時) 平成14年6月24日～25日<2日間>(神戸) 定員100名 平成15年2月3日～4日<2日間>(清瀬) 定員100名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
25. 日本公衆衛生学会	44.45.47.58.(児童虐待防止関係) その他	44.45.47.58.(児童虐待防止関係) 第61回総会(平成14年10月、さいたま市)において、「子ども虐待予防の取り組みと課題」をテーマとしたシンポジウム、及び「児童虐待をめぐる諸提言」に関するミニシンポジウムを開催した。 その他 育児中の会員でも安心して学会行事に参加し研鑽を積めるようにするために、第61回総会の会場内に託児所を	44～59(このうちの数項目):(子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減に関する数項目) 62回総会において、本課題に関連した行事を企画し実施する。
31.(社)日本小児科医会	59	第4回「子どもの心」研修会を前期5月18.19日、後期7月20、21日に開催。前期・後期とも日本都市センターに於いて開催。今年度の研修により新たに159名の登録申請があり、合計1057名が登録されている。 育児支援に関する小児科医の意識調査を実施	テーマ 55「子どもとメディア:テレビ画面の功罪」を調査 第5回「子どもの心」研修会を開催する。前期6月28.29日、後期7月19.20日で北海道大学学術交流センターに於いて開催する。 「子どもとメディア:テレビ画面の功罪」について調査する。 「育児支援に関する小児科医の意識調査」を行
32.(社)日本小児科学会	番外.子どもの人権の保護	・公開フォーラム「こどもの死を考えるin Kobe」を開催した(倫理委員会)。 ・論文や学会・研究会等で使用される患児の顔写真その他の取扱いについてのガイドラインを作成した(倫理委員会)。	番外1.子どもの人権の保護 ・第3回「こどもの死を考える」公開フォーラムを開催する(倫理委員会)。 ・小児本人の同意の在り方について検討し提言を行う(倫理委員会)。 番外2.心の健全な発育の支援 心の健康問題に対処する総合診療システムの確立を目指す(学校保健・思春期問題委員会)。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
34. 日本小児救急医学会	46. 子育てに自信が持てるような支援の推進 49. 育児について相談できる環境の整備 59. 親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の確保・養成	46・49と一緒に ＊ 市民公開講習会の実施 目的：若い保護者を含めた育児支援関係職種への事故の悲惨さと事故防止 の必要性の啓蒙・教育 参加人数；300名（保護者、保育園、幼稚園、養護教諭、小児科医など） 開催・方法；日本小児救急医学会開催前日に市民公開講座として年1回 兵庫県神戸市 効果；主な小児危急症状について、症状別にその対応法を平易に解説するとともに、そのような症状発現育児環境にまで言及し、育児指導を行ったため、かなり有用であったと思われる。 59. 親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の確保・養成 ＊ 公開シンポジウムの実施 目的：子どもの死とバイオエシックス 参加人数；200名（小児科医、小児看護師、一般医療関係者、一般市民、患者家族など） 開催・方法；日本小児救急医学会にて公開シンポジウムとして年1回 兵庫県神戸市 効果；子供を失った母親の体験談を中心に、医療者と患者家族との討論が行われ、きわめて有意義な内容であり、小児科医のみならず、看護師などにおいてもその重要	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
35.(社)日本小児保健協会		<p>心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減</p> <p>民間団体・企業の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> * 民間の子育て支援活動(育児カレッジなど) * ハイリスク並びに健常児に対するタッチケアの普及・推進(J & J、イトーヨーカ堂) * 保育園・幼稚園を通しての育児支援活動(母子健康協会) * 絵本と出会う・親子ふれあい事業の推進(全国保健センター連合会) * 愛育班活動の推進(母子愛育会) <p>虐待防止:周産期からの支援ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> * 埼玉医科大学総合医療センターの活動 * あいち保健総合医療センター保健部の活動 <p>民間の疎遠活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> * 児童虐待防止協会の活動など <p>第4課題に関する普及啓蒙活動</p> <p>ブロック・市町村都道府県単位での研修講演</p> <p>平成14年講演(前川喜平)</p> <p>1.子どもが育つ育て方。江戸川区なぎさ保健相談所講演 平成14年1月11日(金)江戸川区なぎさ保健相談所</p> <p>2.心が育つ保育。第22回母子健康協会シンポジウム講演 並びに司会 平成14年1月15日(火)東京アルカディア市ヶ谷</p> <p>3.乳幼児健診のポイント。町田医師会学術講演会講演 平成14年1月18日(金)町田市医師会館</p> <p>4.幼児健康度調査・乳幼児身体発育調査を終えてーその結果と、今後の対応 平成13年度山口県母子保健指導者講習会講演 平成14年1月24日(木)山口県健康づくりセンター第1研修室</p> <p>5.現代に求められる子育て支援における保健婦・保健士の専門的機能 平成13年度第2回都道府県職能委員長会保健婦・士部会講演 平成14年1月31日(木) ホテルフロラシオン青山、東京</p>	<p>第4課題の責任幹事団体として他の幹事団体・参加団体と協力して次の活動をおこなう予定である。</p> <p>子育て支援ネットワークの先進地区(活動)設定とデータベース作成</p> <p>第4課題啓蒙のために、既に活動を行っている先進地区を「健やか親子のまち(仮称)」として設定する。そしてその方法を普及することを、質の改善を図る。先進地区の選定については幹事団体を中心に各協議会参加団体・関係者からの情報・資料などにより行う。</p> <p>これらの情報を共有するために、データベースを作成する。</p> <p>育児支援システムモデル地区マネジメントリーダーによる支援システム構築のための討論会の開催:実際に支援システムを構築した担当者の生の声を収集・分析し地域特性に適した支援システムガイドブックの作成並びにマネジメントリーダー養成研修会(2-3年後予定)に役立てる。</p> <p>啓蒙活動:14年度と同様にこのための講演会で講演を行う。</p> <p>関係団体・機関の連携の推進:</p> <p>地域における支援ネットワーク推進のため、全国レベルでの関係団体・機関の情報の共有や協働を推進する。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
35.(社)日本小児保健協会		7.健やか親子21・幼児健康度調査と医師会並びに医師の対応について。 第2回静岡県医師会母子保健講習会特別講演 平成14年2月9日(土)、静岡県医師会館第1会議室 8.発達の道すじと乳幼児健診。平成13年度母子保健専門指導員研修会 平成14年2月19日(火) 日本子ども家庭総合研究所研修室 9.子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 平成13年度子ども家庭総合研究所公開シンポジウム司会 平成14年3月12日(火)JAホール、大手町 10.神経発達よりみた遊びの重要性 育児カレッジ講演 平成14年3月24日(日)、こどもの城、研修室 11.小児の発達と育児相談時の対応。平成13年度イトーヨーカ堂マタニティー・育児相談室研修会講演 平成14年4月26日(金)イトーヨーカ堂本社、講堂 東京、港区 12.タッチケアとは。 第7回タッチケア指導者講習会講演 平成14年4月27日(土) 札幌、聖母会天使病院女子寮集会室 13.健やか親子21ーー幼児健康度調査とこれからの小児科医の役割。 第300回西部小児科臨床講話会・第250回福岡東部地区小児科医会・第316回 福岡地区小児科医会学術講演会記念講演、 平成14年5月8日(水)、博多東急ホテル 14.育児とスキンシップ。第26回日本小児皮膚科学会シンポジウム司会 平成14年5月26日(日) 東京プリンスホテル 15.子どもの心の健全育成ー幼児期における健康小児科	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
35.(社)日本小児保健協会		16.タッチケアとは。第23回全日本民医連関東甲信越地方協議会産婦人科交流会講演 平成14年6月22日(土)、ホテル「磯部ガーデン」 17.発達の道筋と乳幼児健診。第30回母子保健夏季セミナーA講演 平成14年6月25日(火) 日本子ども家庭総合研究所研修室 18.安心子育ての実際。平成14年度山形県母子保健指導者研修会講演 平成14年7月10日(水)、山形県高畠町文化ホール。 19.現在に求められる子育て支援の在り方。 平成14年度兵庫県母子保健指導者研修会講演 平成14年7月11日(木) 兵庫県民会館大ホール 20.発達の道筋と乳幼児健診。第30回母子保健夏季セミナーB講演 平成14年7月23日(火) 日本子ども家庭総合研究所研修室 21.現在に求められる子育て支援。平成14年度広島県母子保健指導者研修会講演 平成14年7月30日(火)広島市 22.子どもの心の安らかな発達支援のために。 平成14年度関東甲信越母子保健事業研修会講演、平成14年8月30日(金)、主婦会館プラザエフ、東京 23.子どもの心の安らかな発達(心の健康)・子育て支援に対する小児科医の係わり方 子どもの心の健康・子育て支援と小児科医の係わり方 京都小児科医会講演 平成14年8月31日(土) キャンパスプラザ京都 24.子どもの心の安らかな発達と育児不安の軽減 平成14年度三重県母子保健指導者研修会講演 平成14年9月3日(火) 三重県津、県庁大講堂。 25.小児期における問題の早期発見と早期対策。	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
35.(社)日本 小児保健協会		26.タッチケアとは。タッチケア指導者講習会講演、平成14年9月14日(土) 仙台市保健福祉会館 27.遊びと脳の面白い関係 世田谷区烏山保健福祉センター子育て講座講演 平成14年9月20日(金)、上北沢区民センター 28.タッチケア総論。福島県西白河地方市町村保健師等業務連絡協議会 保健師研修会講演、平成14年10月28日(月)、ホテルサンルート新白河 29.子どもの健やかな心を育むために *平成14年度母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)シンポジウム 司会並びに講演、平成14年11月14日(木)、佐賀市文化会館 30.どこまでできるか小児科医の子育て支援。第2回東日本小児科学会教育講演、 平成14年11月17日(日) こまばエミナース、東京 31.子どもの心の安らかな発達支援のために 平成14年度中国・四国地区母子保健事業研修会講演、平成14年11月22日(金)、高知共催会館 *健やか親子21全国大会でのシンポジウムの開催 先進的な子育て支援ネットワークシステムに関する情報収集 *育児支援ネットワーク(世田谷区烏山ちくなど *児童虐待防止ネットワーク(三鷹市、泉大津市、中野区等) 子育て支援ネットワークシステム構築の普及方策の検討	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会	44.45.47.48.49.50.52	<p>44), 45), 47), 48), に対して</p> <p>(1)「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談事業などの相談事業を46支部で実施し、60,779件の利用があった。</p> <p>(2)「産後ケア事業」を21ヶ所の助産所で実施、81件の利用があった。</p> <p>(3)「乳幼児虐待防止指導」の5日間の認定研修会を実施し、8名が受講した。「新生児訪問指導者研修会」3日間、2回実施し、延77名が受講した。</p> <p>(4)「子育て・女性健康支援センター」活動の相談員育成のための研修会を6地区で開催し、延378名の参加があった。</p> <p>(5)子育て支援団体と共に「子育て支援」のイベントに2回参加した。</p> <p>49)に対して</p> <p>(1)「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談等の相談事業を46支部で実施した。</p> <p>50)に対して</p> <p>(1)全国の助産所・病院等における両親学級の開催、立会い出産の推奨。</p> <p>52)に対して</p> <p>(1)「子育て・女性健康支援センター」における無料相談事業を46支部で実施。</p> <p>(2)「乳房ケア」の3日間の研修会を2回開催、延114名の参加があった。</p>	<p>44), 45), 47), 48), 49), 50), 52) に対して</p> <p>(1)46支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談等の相談事業の実施</p> <p>(2)産後ケア事業の推進</p> <p>受諾してくれる市町村を増加するための要望活動を行う。</p> <p>(3)継続母子訪問モデル事業()</p> <p>生後2ヵ月以内に同じ助産師が5回継続的に訪問する。5地区、延75事例を訪問する。</p> <p>(4)相談員育成のための研修会の開催</p> <p>「母子訪問指導者研修会」を2地区(東京・大阪)で開催</p> <p>「乳幼児虐待防止指導研修会の開催(大阪)</p> <p>母子訪問指導員への教育のための教材ビデオの製作と関連機関への配布()</p> <p>(5)子育て支援団体と共に「子育て支援」のイベントに参加</p> <p>49)に対して</p> <p>(1)46支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談等の相談事業の実施</p> <p>50)に対して</p> <p>(1)全国の助産所・病院等における両親学級の開催、立会い出産の推奨</p> <p>52)に対して</p> <p>(1)46支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談事業の実施</p> <p>(2)「乳房ケア」の研修会を2回開催(東京・大阪)</p> <p>()平成15年度社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」(一般分)助成事業</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
39. 日本赤十字社	46.49.	<p>運営する児童福祉施設において、以下の子育て支援事業を実施した。（乳児院 8施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイケア 2施設 ・ショートステイ 5施設 ・育児体験教室 2施設 ・乳幼児健康支援一時預かり事業 5施設 ・赤十字幼児安全法講習 3施設 <p>保育所 3施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時的保育事業 1施設 ・保育相談 1施設 ・赤十字幼児安全法講習 2施設（児童養護施設 2施設） ・育児相談 1施設 <p>このほか、松本赤十字乳児院において、外国人母親支援事業として日本語教室を開催するなど、地域の実情に応じた子育て支援を行っている。</p> <p>なお、赤十字の特色を活かして、講習事業の1つである幼児安全法を各施設にて開催し、地域の子育て支援の一助</p>	<p>14年度に引き続き、各児童福祉施設が保持している、子育てに関するノウハウを活用して、地域の養育能力の向上を図るよう努める。</p> <p>今後は全国組織である赤十字のネットワークを活かし、赤十字の他事業とも連携を図りながら本活動を展開していく。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
40. 日本タッチケア研究会	タッチケアの指導者の育成、タッチケアの科学的基礎研究、タッチケアの普及・啓蒙（成果として、46・48・58を推進することを目指し、50・51の側面からの支援とする）	<p>タッチケアの指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回タッチケア指導者講習会の開催(4/27 札幌 42名受講) ・第8回タッチケア指導者講習会の開催(9/14 仙台 79名受講) ・第23回全日本民医連関東甲信越地方協議会産婦人科交流集会での講習会(6/22 群馬 50名受講) ・福島県西白河地方市町村保健婦等業務連絡協議会での講習会(10/28 新白河 22名受講) ・新生児看護研究会;千葉県分科会での講習会(12/27 千葉 89名受講) <p>タッチケアの科学的基礎研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的基礎研究への研究助成を次の2件で実施 - 東京大学医学系研究科発達医科学教室 聖路加国際病院参加新生児科 井村 真澄氏 テーマ:「子育て中の母親に対するマッサージの有効性に関する研究」- 葛飾赤十字産院 三石 知左子氏 共同研究者: 愛育病院 山口 規容子氏 テーマ:「タッチケアによるハイリスク児の母親への育児行動に与える影響」 ・タッチケアの普及啓蒙に関する全国各地で行なわれている草の根的活動に対する支援(9件実施) <p>タッチケアの普及・啓蒙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員(12/16現在708名)を主な対象に、活動の報告、啓発記事、投稿記事等を収載したニュースレターTouch Care Updateを季刊で発行実施 ・第26回日本小児皮膚科学会シンポジウム「スキンシップと育児」(5/26東京)協賛実施 ・第16回日本助産学会展示会(3/14~15東京)出展実施 ・第49回日本小児保健学会展示会(10/10~12神戸)出展実施 	<p>タッチケアの指導者の育成 指導者講習会は、受講希望の多い関東地区及び初めての沖縄で開催予定。その他公共施設等からの要望には柔軟に対応する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回タッチケア指導者講習会の開催予定(4月 東京 2部構成で計100名受講予定) ・第10回タッチケア指導者講習会の開催予定(12月 沖縄 2部構成で計100名受講予定) ・関西医科大学小児科での研修会開催予定(6月 大阪 約30名受講予定) <p>タッチケアの科学的基礎研究</p> <p>タッチケアの基礎研究は、14年度より実施の2件を引き続き推進。新規分はプロトコール検討中。</p> <p>タッチケアの普及・啓蒙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターTouch Care Updateの継続発行(季刊)予定 ・第106回日本小児科学会(4月 福岡)での出展予定 ・第50回日本小児保健学会(11月 鹿児島)での出展予定・健常児向けマニュアルの冊子の改訂版作成予定
41. 日本保育園保健協議会	38.46.48.49.50	<p>38,48,49 予防接種の勧奨、子育て支援</p> <p>市民公開講座の実施</p> <p>目的(テーマ)三歳未満児における健康的な生活をめざして-保育園、家庭、医療機関の役割と連携 参加人数約750人(保育園保護者、保育士、看護師、医師など)</p> <p>開催地 名古屋市</p> <p>効果 子育て相談のシステムを理解</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援推進</p> <p>保育園保健ニュースの配布</p> <p>配布対象:全国保育園(32,000園) 全国自治体(3,000)</p> <p>配布数:35,000</p> <p>効果:集団保育保健の正しい理解</p>	<p>38,48,49,50 子育て支援</p> <p>市民公開講座の実施</p> <p>目的 子育て支援のシンポジウムを開催</p> <p>参加人数:約800人(市民、保育園各職種、医師など)</p> <p>開催地 福岡市</p> <p>効果 子育て相談のシステムを理解</p> <p>38,46,48,49,50 保育園の子育て支援と健康推進</p> <p>保育園保健ニュースの配布</p> <p>配布対象:全国保育園(32,000園) 全国自治体(3,000)</p> <p>配布数:35,000</p> <p>38,46,48,49</p> <p>有職母親の子育て意識調査</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
42.(社)日本 保育協会	49.育児について相談できる環境の整備	<p>49.育児について相談できる環境の整備 育児電話相談「ママさん110番」の運営 相談日 月～金 延相談人数 3,976人 保育士等を対象とした研修会を実施 ・地域子育て支援センター担当者研修会A型(国庫補助事業) 目的:保育所が地域子育て支援センターとしての機能を果たすために必要な研修を行う。 参加者:416名 開催日:7月30日～8月2日 開催地:東京都 方法等:厚生労働省との共同主催。全国を対象。 ・地域子育て支援センター担当者研修会B型(国庫補助事業) 目的:保育所が地域子育て支援センターとしての機能を果たすために必要な研修を行う。 参加者:195名 開催日:12月3日～6日 開催地:東京都 方法等:厚生労働省との共同主催。全国を対象。 ・保育所保育・保健研修セミナー(日本財団助成事業) 目的:保育所の小児保健への取組みの向上に関し研修する。 参加者:東京 322名 大阪 332名 開催日:東京 12月14・15日 大阪 3月15・16日 開催地:東京都、大阪府(各1回)</p>	<p>49. 育児電話相談「ママさん110番」の運営 保育士等を対象とした研修会を継続実施 ・地域子育て支援センター担当者研修会A型(国庫補助事業) ・地域子育て支援センター担当者研修会B型(国庫補助事業) ・保育所保育・保健研修セミナー(日本財団助成事業) 2回 ・保育所子育て相談推進セミナー(日本財団助成事業) 2回 地域に開かれた保育所の活動に関する調査研究(社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」助成事業) ・継続して実施</p>
42.(社)日本 保育協会		<p>・保育所子育て相談推進セミナー(日本財団助成事業) 目的:保育所における子育て相談に対応できる保育士を養成する。 開催日:東京 1月18・19日 大阪 2月10・11日 参加者:東京318名 大阪315名 開催地:東京都、大阪府(各1回) 方法等:全国を対象 地域に開かれた保育所の活動に関する調査研究(社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」助成事業) ・モデル的な保育所を選定し、地域における子育て支援活動の取組み実例の調査報告書を作成・配布</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会	46.48.50.52.58.	<p>1. 第11回母乳育児シンポジウムを開催した。8月3日(土)、4日(日)。 テーマ:特別後援:『地霊たちの子』石牟礼道子・作家基調 講演:『母乳育児 過去・現在・未来 何が母子を支えるのか -』南部春生・朋友会札幌産科婦人科 シンポジウム1:『ハイリスク妊娠・出産における母乳育児の推進』 シンポジウム 2:『出産前後をめぐる問題と母乳育児』 母親と医療者との交流会:『母乳育児最新情報 - おっぱいを阻むもの』 目的:母乳育児の正しい知識の普及と医療者が取り組むための支援 参加人数(対象者):1100名(母親など、)開催数、方法等:年に1回(世界母乳週間の8月の第1週の土日に開催) 仙台市・国際交流センター 効果:東北地区の母乳育児の広がりが見られる。2日目の午後は母親達との意見交換間で医療者が母親達の悩みを理解する手立てになった。 2 ワークショップ開催・02年5月17日(土)、18日(日)大分市杉の井ホテル約70名参加 03年1月11日(金)、12日(日)富山市国際会議場約70名参加 目的:母乳育児普及のために、施設の指導的立場の方にさらに認識を深めていただき、実践を取り組んだ 参加人数:各70名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、) 効果:富山地区の母乳育児の広がり 3.全国母乳育児施設アンケート集計、発表 目的:産科施設における母乳育児、母子同室等の実態調査。日本全国の産科施設の約4680に配布。回収率32%。</p>	<p>52.母乳育児の推進 1)第12回母乳育児シンポジウム開催。京都市、国立京都国際会館 世界母乳週間の8月第1週8月2日(土)、3日(日)、 メンテーム「21世紀の子育て支援の中核としての母乳育児」 特別講演:『世界の子ども達』澤良世・ユニセフ駐日事務所 基調講演:『周産期から赤ちゃんを見ると』岡村博行・岡村産婦人科医院長 シンポジウム1「母乳育児を根づかせるために - 健やか親子21をみすえて」 シンポジウム2「産後1カ月までの母乳育児を支える工夫」 母親と医療者との交流会「聞いてください、聞かせてください、おっぱい育児」 参加人数予定1100人 目的:全国的な母乳育児普及のため、また、開催地域の母親支援 ポスター作製、関西地区で母親向けのちらし作成、全国の産科のある病院の責任者、助産師、保健師学校等に案内配布 2) ワークショップ開催・03年10月25日(土)、26日(日)福島県飯坂市 約70名募集:各施設の責任者クラスに対するワークショップ東北地区の産科、小児科の案内配布 3) 全国病院小児科(約1400)母乳育児施設アンケート調査結果発表 母乳育児シンポジウム、小児保健学会などで報告</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会		<p>効果：調査結果を「新母乳育児何でもQ&A」に掲載したため、母親達の選択に役立っている。出産直後からの母子同室が増えてきていることが判り、母乳育児も少しずつ母乳育児が拡がり始めていることがわかってきた。</p> <p>4. 「赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital・BFH)」を5施設、認定推薦。 目的：母乳育児を推進するために「母乳育児成功のための10か条」実践している病院をBFHにWHO・ユニセフに申請。本年度はくぼかわ病院(高知県)、黒川産婦人科(岩手県)、鳥取県立中央病院、宇津野医院(茨城県)、熊本市立熊本産院の5施設 効果：地域の母乳育児の促進、母親の要望にこたえる施設の増加し、母乳育児の広がり大きな役割を果たしている。母乳育児・母子同室を取り入れ初めて、退院後の育児不安による電話が少なくなり、母乳で母親が育てられるようになると育児不安が少なくなることが実証された。</p> <p>5. シンポジウム記録集、ワークショップ記録集を発行 目的：母乳育児の正しい情報を広く普及させるため 効果：記録集を使って、施設の勉強会が開催される</p> <p>6. 母乳育児シリーズ『離乳食』を発行 目的：母乳だけで育てているお母さんの適切な離乳食の指導書がないため、実態に合った小冊子を出版。 効果：産経新聞、読売新聞にに掲載され、多くの反響を呼び、子育て不安の解消に役立っている。本を読まれた方から、とても安心したという声がたくさん寄せられている。 課題：保健所や小児科での指導に戸惑っているお母さんが多く、さらに普及が必要。</p> <p>7. 各地の母親や医療者の会の支援 目的：母乳育児の最新情報の普及、母親達の育児支援 30人規模から100人規模まで、要請があれば、可能な限り出かけて、講演をする</p>	<p>4) BFH(赤ちゃんにやさしい病院)を認定審査、認定3年後のクリーニング調査 目的：母乳育児成功のための10か条を遵守し、地域での母乳育児普及の役割を担うべく施設の調査・認定。5)BFH認定病院の研修会 6)BFH認定申請希望の施設に対して、訪問、懇談会、講演会等による支援活動 目的：母乳育児をすすめるにあたって、施設でのコンセンサス作りのための勉強会 7)シンポジウム記録集、ワークショップ記録集を発行</p> <p>46子育てに自信が持てるような支援 48親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援 50父親が育児に参加できる環境の整備、 58育児不安・虐待親のグループ活動への支援 1) 母乳育児シリーズ『卒乳』『母乳と薬』等を発行 育児不安の一つである母乳育児でのつまづきを解消していくために母親、及び、その指導に関わる専門家向けの解説書を発行全国の保健所等へのご案内配布 2) 母親グループへの講演会及び資金援助(資金援助は会員に限る) 3) 各地の母親や医療者の会の支援、 目的：母乳育児の最新情報の普及、母親達の育児支援 30人規模から100人規模まで、要請があれば、可能な限り出かけて、講演をする。 4) 運営委員による講演会活動 の意識調査。厚生科学研究の一環として取り組む</p>
46. 日本母乳の会		<p>8. 全国病院小児科(約1400)母乳育児施設アンケート調査 厚生科学研究の一環 目的：病院小児科医が母乳育児にどのように取り組んでいるか、また、どのような意識を持っているか。母親達への支援の様子を調べた。 約1470へ配布。 回答率は約32%。効果：基本的に病院小児科は母乳育児支援に関心が低いことがわかった。今後の取り組みの方向性が示唆された。</p>	<p>5) 全国保健所・保健センターにおける保健師たちの母乳育児調査 目的：産科施設を退院した後の保健センターの指導のばらつきに戸惑っている母親が多く、育児不安の原因の一つとなっている。現場で指導する保健師達</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
47. (社団) 日本薬剤師会	45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進	健やか親子21第4課題における『「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ』（座長：前川喜平日本小児保健協会会長）の中で、「子供虐待早期発見システム」の構築に参画。平成14年度は4回開催。	健やか親子21第4課題における『「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ』（座長：前川喜平日本小児保健協会会長）の中で、「子供虐待早期発見システム」の構築に参画。（継続） また、同ワーキンググループの検討結果を踏まえ、今後、各都道府県レベル等で設置が想定されるネットワークづくりに対しては、地域薬剤師会レベルでも積極的に参加、協力をを行う予定。
48. (社団) 日本理学療法士協会	46.子育てに自信がもてるような支援の推進 48.親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 53.周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立	46.48. * 研修会の実施 目的(テーマ):学習障害(LD)および注意欠陥・多動障害(AD/HD)を持つ子どもの理解と支援の現状 参加人数(対象者):71名(医療、保健、教育、一般、学生、等)開催数、 方法等:1回、4名(医師、作業療法士、支援団体、当事者)の講演効果、 その他:参加者から、LD、AD/HDへの理解が深まったとの意見や、今後一人一人がどのように支援すべきか、との問題意識が寄せられた。 53. * 情報収集活動と会員への広報の実施 目的:特別支援活動への理学療法士のかかわりの状況と役割について情報を収集し、理学療法士協会の会員にニュースで広報する。 情報収集の方法:会員のインターネットメーリングリストから養護学校に勤務する理学療法士の状況やニーズをうかがった。文部科学省の担当部署に電話にて今後の動向をうかがったり、文科省ホームページから検討状況を収集した。 情報の発信:協会広報誌のニュース(1頁)に掲載した。 効果:会員数名から、養護学校における理学療法士の役割や今後の役割、取る組むべき方向について意見が寄せ	46.子育てに自信がもてるような支援の推進48親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 * 小児領域の理学療法士の育成 目的:運動障害児、病弱児、等の育児支援のできる理学療法士を多く育成する 効果:老人支援にかかわる理学療法士に比べて極端に少ない小児支援に係わる理学療法士を育成することで、障害児を持つ親への充実した指導が行え、生活にゆとりを持てる親が多くなる。 53.周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 * 特別支援教育(文部科学省)との協応体制の検討理学療法士の支援が有効な「特別な支援の必要な子ども」の経年的(継続的)支援の方法について考えてゆく。 目的:「特別な支援のある子ども」の教育リハビリテーションの充実 効果:義務教育過程にある「特別な支援の必要な」児童・生徒に、理学療法士が今以上に多く支援できれば、肢体不自由児や病弱児・等の教育が充実するものと考えられる。 課題:そのためには、特別支援教育に理学療法士資格で介入できるシステムの導入と教育を行える

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
49.(財)母子衛生研究会	46.48.52等 妊娠・出産・育児全般に関すること 46.48.等 幼児期の心身の健康に関すること 46.48.52等 妊娠・出産・育児全般に関すること	<p>*パンフレットの作成・配布 目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を得ることにより、充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとした母子健康手帳の副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」の作成・配布 配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて妊娠届出者に配布 配布部数:1,350,000部 効果、その他:妊娠中や育児期の母の生活管理、赤ちゃんへの接し方および行政サービスなどについての基本的な知識が得られることにより、育児不安の軽減がはかられる。</p> <p>46.48.等 *パンフレットの作成・配布 目的:幼児の心と身体についての基本的な知識、情報を得ることにより、充実した育児期を過ごすことをねらいとした冊子「すこやか幼児のこころとからだ」の作成・配布 配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて1歳6か月児健診、3歳児健診時に保護者へ配布 配布部数:1,350,000部 効果、その他:幼児期の育児について発育・発達、生活習慣等の基本的な知識が得られることにより、育児不安の軽減がはかられる。</p> <p>46.48.52.等 *電話情報「ワクワク子育てベビーダイヤル」の実施 目的:快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとし、いつでもどこからでも利用できるテープによる24時間電話情報を実施。 対象者:妊娠・出産・育児期の保護者 効果、その他:妊娠・出産・育児についてのよくある疑問や不安に関する106項目について電話ですぐ情報が得られ、</p>	46.48.52.等 妊娠・出産・育児全般に関すること *パンフレットの作成・配布(継続実施) 母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」の作成・配布 46.48.等 幼児期の心身の健康に関すること *パンフレットの作成・配布(継続実施) 冊子「すこやか幼児のこころとからだ」の作成・配布 46.48.52.等 妊娠・出産・育児全般に関すること *電話情報「ワクワク子育てベビーダイヤル」の継続実施 46.48.52.等 妊娠・出産・育児全般に関すること *インターネット「子育てインフォ」の継続実施
49.(財)母子衛生研究会	46.48.52.等 妊娠・出産・育児全般に関すること	46.48.52.等 *インターネット「子育てインフォ」の実施 目的:快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとし、いつでもどこからでも利用できるインターネットによる24時間電話情報を実施。 対象者:妊娠・出産・育児期の保護者 効果、その他:妊娠・出産・育児についてのよくある疑問や不安に関する106項目について電話ですぐ情報が得られ、育児不安の軽減がはかれる。	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子 保健推進会議	2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62	<p>1 平成14年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)の開催 本年より本会議・厚生労働省・(社)福 恩賜財団母子愛育会・(社)日本家族計画協会・佐賀県・佐賀市の主催により開催するとともに永年地域母子保健活動に貢献のあった団体と個人に本会議会長表彰を行った。 平成14年11月14日(木) 特別講演「育児と育自...子どもと大人、同世代を生きる」 講師 作家 落合 恵子 シンポジウム テーマ「子どもの健やかなこころを育むために～健やか親子21の目指すもの～」 コーディネーター (社)日本小児保健協会会長 前川 喜平 シンポジスト 世田谷区烏山保健福祉センター 塩谷 博子 地域ぐるみの子育てをすすめるひだまりの会 高山 静子 佐賀新聞社報道部記者 エドワード・クランドール 平成14年11月15日(金) シンポジウム テーマ「現代っ子の性を考える」 司会進行 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 司会進行 NBCラジオ佐賀パーソナリティー 阿部 かおり シンポジスト 若者 男女 数名</p>	<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62</p> <p>1 平成15年母子保健家族計画全国大会の開催 富山県富山市で開催される大会に主催団体として企画・準備・運営等を行う。 期 日:平成15年11月6日(木) 7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>2 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。</p> <p>3 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック母子保健事業研修会の開催 (2)母子保健推進員研修会の開催 (3)母子保健推進員県外交流特別研修会の開催 (4)沖縄県母子保健特別対策の実施 (5)母と子の健康を守るつどい (6)都道府県母子保健推進員協議会組織育成事業 (7)母子保健指導書の制作配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>行政説明 国民運動「健やか親子21」の推進を 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長 谷口隆 思春期教育劇「未来へ」 沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」 シンポジウム「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」 司会 (社)母子保健推進会議常務理事 原澤 勇 アドバイザー NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子 講師 山口県母子保健推進協議会会長 林タカ枝 富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田民子 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間歌子 長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中晃子 佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀裕子</p> <p>3 (社)母子保健推進会議会長表彰 1)団体(21) 2)個人(34)</p> <p>4 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成14年11月14日(木) 17:15~19:00 会 場:佐賀市文化会館 内 容:母子保健推進員活動報告 出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック別母子保健事業研修会の開催 本会議、開催県、(社)日本家族計画協会、(社)全国保健センター連合会との共催、厚生労働省、(社)日本助産師</p>	<p>母子保健推進員を対象とする指導書を制作する。 1) 指導書(手帳) 2) リーフレット {表 題} 「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」</p> <p>6 本会議機関紙“母推さん”の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104~115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 {表 題} 「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 「健やか親子21」国民運動の推進</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>テーマ:子どもの心の安らかな発達支援のために 子どもの虐待防止を目指す地域システムづくり 思春期の心の健康づくり 若者の性を考える 妊娠・出産期の母子精神保健 育児不安と子どもの虐待 小児期における問題の早期発見と早期対応の取り組み</p> <p>1) 東北・北海道ブロック(秋田県) 250名 9月5日～6日 2) 関東・甲信越ブロック(東京都) 107名 8月29日～30日 3) 東海・近畿・北陸ブロック(京都府) 107名 8月29日～30日 4) 中国・四国ブロック(高知県) 86名 11月21日～22日 5) 九州ブロック(北九州市) 256名 8月22日～23日 6) 北海道(札幌市) 180名 11月15日</p> <p>(2)母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <p>1) 母子保健推進員活動報告 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) ドメスティック・バイオレンスと女性の 인권 8) 思春期保健</p> <p>(3) 沖縄県母子保健特別対策の実施 沖縄県母子保健事業の促進をはかるため、沖縄県において母子保健推進員、市町村母子保健担当者を対象に、平</p>	<p>9 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表 題〕ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布</p> <p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業</p> <p>12 子育て中の母親へのピア・カウンセラー養成事業</p> <p>13 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(4)母と子の健康を守るつどい 母子保健推進員の地域活動を助成し、県民の乳幼児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかるため「母と子の健康を守るつどい」を山口県阿東町で開催した。</p> <p>(5)ピアカウンセラー養成事業 新潟県五泉市において母子保健推進員に対して9日間コースでピアカウンセリング研修会を実施した。</p> <p>(6)母子保健指導書の制作頒布ならびにリーフレットの制作配布 母子保健推進員に対する指導書及び推進員訪問活動用リーフレットを制作配布し、母子保健事業の教育並びに啓発を行った。</p> <p>1)指導書 〔表題〕「母子保健推進員」 〔制作数〕1,500部 〔配布先〕母子保健推進員</p> <p>2)リーフレット 〔表題〕「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」 〔制作数〕20,000部×2種 〔配布先〕母子保健推進員(研修会参加者)</p> <p>(7)都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。</p> <p>富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会</p>	<p>14 第15回手作り健康教育媒体コンテストの開催 (財)予防医学事業中央会、(社)日本家族計画協会との共催で開催する。</p> <p>表彰最優秀賞 : 厚生労働大臣賞 1件 優秀賞 : 3件 佳作賞 : 若干 奨励賞 : 若干</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(8)茨城県北浦町視察研修 平成14年11月29日(金)に茨城県北浦町の母子保健推進員および、担当保健師13名が本会議に来訪。視察研修を行った。</p> <p>6 本会議機関紙「母推さん」の刊行 母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」-母子保健推進員だより-(タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業 地域住民の参加により、子育て問題をテーマとする「母子保健・健全育成住民会議」を次の各県で開催した。 主な研修会の内容は 1)講演「心をことばにのせて」 2)絵本の読み聞かせ 3)講演「ダダこね育ちのすすめ」 4)シンポジウム「子育てに思うこと」他</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 (1)10月を「母子保健強調月間」とし、(社)日本産婦人科医会、(社)日本小児保健協会など会員団体の協力、厚生労働省の後援を得て次の事業を実施した。 1)妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 (表題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」-支えよう21世紀の健やか親子- 健診を忘れずに受けましょう 働く女性、事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 母と子の健康をまもる運動 (主唱)社団法人 母子保健推進会議</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		2) 母子保健啓発用パンフレットの制作配布 〔表題〕「母子保健」第38号 〔制作数〕 2,600部 〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体、全国大会参加者 9 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と併せて、母子保健推進員及び保健師、学校関係者等を対象に、次の各県で行った。 主な内容は、 1) 口腔清掃 2) 歯周病の原因と予防 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表題〕「乳幼児歯科保健指導のポイント」(歯科保健指導者のために) 〔制作数〕 1,600部 〔配布先〕 歯科研修会開催県及び参加者(専門職)	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		(3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県の委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。 (表題) 「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歳臼歯 (制作数) 81,000部 (配布先) 愛知県市町村及び歯科医師会 (4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (表題) 「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」 (制作数) 750,000部 (配布先) 全国保健センター、各県研修会場 (5) 歯科保健指導用パネル制作配布 (表題) 歯科保健指導用パネル (指導) (社)日本歯科医師会 (制作数) 725枚 (配布先) 都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係 (6) 母子歯科保健教材セットの配布 (対象) 1.6歳児または3歳児 (実施方法) 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。 (配布教材) 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット 3歳児用歯ブラシとリーフレット	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1)妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。 1)ポスターの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 〔協賛〕明治乳業株式会社 〔後援〕社団法人 日本産婦人科医会 〔制作数〕20,000枚 〔配布先〕都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等 2)リーフレットの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕86,000部 〔配布先〕都道府県、関係諸団体等 3)クリアファイルの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕15,000枚 〔配布先〕研修会開催県及び参加者等</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業 子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。 (1)研修会の開催 鹿児島県 平成14年10月16日(水) 沖縄県 平成15年1月23日(木) (2)誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>12 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。 (1)研修会 延参加者数 1,288名 群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名 熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名 大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名 広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名 長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名 (2)テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。 テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部 規格:A5版、80頁、4色刷 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人 リーフレット...「お母さん、子育てを楽しんでいますか？」 - 一人で悩まないで、私たちもお手伝いできます - 100,000部 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p> <p>13 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのちからだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元気いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市立学校栄養士会ほか10席 エプロンシアター「三色の栄養エプロン」</p>	
51.(社)母子用品指導協会	<p>46.子育てに自信が持てるような支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備</p>	<p>46. ママと赤ちゃんのための用品「なにが必要？どう選ぶ」（一部改訂版）を作成し各市町村の保健センター等から120万部を配布。（B6判 横長 本文16ページ） 49. グループホームページ「子育てインフォ」内に母子用品情報ページ「e-もの」を継続して掲載。 同「子育てインフォ」内に、「子育てインターネット相談室」を開設し、ネット上で相談の受け付けや情報の配信を行う。</p>	<p>46. ママと赤ちゃんのための用品「なにが必要？どう選ぶ」（一部改訂版）を作成し各市町村の保健センター等から120万部を配布。（B6判 横長 本文16ページ） 49. グループホームページ「子育てインフォ」内に母子用品情報ページ「e-もの」を継続して掲載。 同「子育てインフォ」内に、「子育てインターネット相談室」を開設し、ネット上で相談の受け付けや情報の配信を行う。 子育て不安解消パネル</p>
52.日本小児歯科学会	<p>45.虐待の発生予防、早期発見・対応、支援の推進 46.子育てに自信が持てるような支援の推進 54.受信者が満足いく乳幼児の健康審査の実施の推進</p>	<p>45. * 地域保健委員会、広報委員会、学術委員会においてリーフレットの作成検討 46. * 学術集会の開催 「少子社会に対する取り組みの現状と展望」 参加人数 約80名(学会員)</p>	<p>45. 虐待の発生予防、早期発見・対応、 * 委員会活動の中で会員啓蒙のためのリーフレットの作成を継続審議 46. 子育てに自信が持てるような支援の推進 * 公開講座の開催(未定) 54.受信者が満足いく乳幼児健康審査の実施の推進 * 継続事業 学会員に受診者用リーフレットの頒布 55.育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の実</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
54. 日本新生児学会		第38回日本新生児学会学術集会シンポジウムを平成14年7月14-6日に神戸国際会議場において開催した。シンポジウム1 これからの母子支援、1)より安全なお産を目指して、 2)prenatal visit、3)母乳育児の推進	第39回日本新生児学会学術集会 平成15年7月14-6日開催予定、福島県郡山市 (1)少子化及び核家族化による育児不安を軽減させるための施策の立案もしくは、ガイドラインの作成 (2)育児不安解消のため搬送システム、回復期支援システム、育児指導システムの検討 (3)1か月健診の状況の把握、両親学級の状況の把握をおこなう
58. 全国病児保育協議会	46.48.49.50.51.	施設長研修会 講演「病(後)児保育自己評価基準」 =こどもの権利擁護とサービスの質の向上にむけて= 講師 清心乳児園 園長 平田 ルリ子 先生 職員研修会 講演「いろいろなこどものかかわり方」 講師 聖心女子大学 本吉 圓子 先生 講演「病児保育におけるリスクマネージメント」 講師 東京都立母子保健院 院長 帆足 英一 先生 その他 HPの掲示板での相談	施設長・職員研修会 特別講演 聖マリア病院 橋本 武夫 先生 京都大学病院 小児科ボランティアコーディネーター 神田 美子 氏 その他 地域子育て支援センター、派遣型乳幼児健康支援一時預り事業、ファミリーサポートセンター、保育サポーター、ベビーシッター等の他の育児支援グループとの連携
60. 日本外来小児科学会		1. リーフレット作成委員会より、リーフレットの作成と配布。 2. 学会の年次集会において、いろいろな育児支援のためのワークショップが開催された。 3. 会員から育児支援の活動を集め、アドボカシーNOWとし	上記の活動を継続し、日々の診療の中でも育児支援マインドをもつことが、プライマリケア医の重要な役割であることを会員に広く認識してもらう。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
63. 日本母乳哺育学会	15.46.48.49.52.	<p>15.46.48.49.52</p> <p>第17回日本母乳哺育学会学術集会開催 学術集会会長 佐藤郁夫(国際医療福祉大学教授) 平成14年9月28.29日 栃木県総合文化センター 教育講演:母乳と喫煙 大阪府健康福祉部地域保健課 島本太香子 特別講演:母乳育児とカンガルーケア 聖マリアンナ医科大学 堀内勤 シンポジウム 1:母乳育児と歯の考え方 青葉子どもと親の歯科医院 青葉達夫 2:母乳育児推進のための秘訣とジレンマ 梅田病院 梅田馨 3:母乳育児のコツとジレンマ-低出生体重児の場合 神奈川県立子どもセンター 大山牧子 4:母乳哺育推進のための秘訣と自宅出産 みづき助産院 神谷整子-一般演題:多数 日本母乳哺育学会ニュースレター発行 日本母乳哺育学会ホームページ立ち上げ</p>	<p>第18回日本母乳哺育学会学術集会開催 学術集会会長 戸谷誠之(昭和女子大学大学院生活機構研究科) 平成14年9月19.20日 昭和女子大学80年記念館 オーロラホール他 特別講演:母乳と栄養 韓国女性の研究から- 檀國大学 金乙祥 教育講演:消化吸収と腸内フローラ 理化学研究所 辨野義己 公開講演会:母乳と離乳食の栄養学 聖マリアンナ医大 堀内勤 宮城県立こども病院 堺武男 パネルディスカッション 離乳:母乳育児継続への支援とは? 健やか親子21に向けて- シンポジウム 母乳の栄養学とその進歩 ニュースレター・ホームページの充実 一般市民への母乳育児の普及・啓蒙と情報提供のための母乳育児Q&Aの作成 母乳に関する基礎研究・母乳育児に関する研究と、第一線現場での母乳育児支援を行っている専門家への情報提供を通して、各課題に貢献したいと考えています</p>
64. (社団) 日本女医会	46.49.	<p>子育てに自信がもてるような支援の推進 育児について相談できる環境の整備 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を継続して二回開催(第二回、第三回) 目的:十代の妊娠中絶率の増加に伴い、増加している性感染症の恐ろしさを教え、正しい科学的知識・予防法等を徹底する。 参加人数(対象者): 第二回 109名(医師、教諭、助産師、保育師、警察、学生、その他) 第三回 186名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 開催数 2回 方法等 1回目は「性と健康を考える女性専門家の会」の協力 2回目も「性と健康を考える女性専門家の会」の協力、さらに、宇都宮市の共催、栃木県医師会、宇都宮市医師会、宇都宮市教育委員会の後援を得た。 効果、その他 専門性の高い講師を選定し、講演内容も受講者より極めて好評であった。</p>	<p>子育てに自信がもてるような支援の推進 育児について相談できる環境の整備 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を全国5ヶ所で開催する。そのための資料集、教材の開発し、子どもを取り巻く誰もが科学的な性の健康教育を自然体で教える雰囲気作りを目指す。 * 地域のネットワーク作り * 身近なところで気軽に相談指導を受けることができる体制作り並びに 女性医師の研究強化</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
68. 日本臨床心理士会	46. 子育てに自信が持てるような支援の推進	* 子育て支援研修会の開催 目的と内容: 子どもの心理アセスメント、親支援にあたる専門家への臨床心理士の対応方法、他職種との連携 参加人数、対象者: 臨床心理士、約800名 開催数、方法等: 1回平成14年11月17日、於: 白百合女子大学 効果、その他: 保育所・保健所保健センターの保育士や保健師との連携・協働、公民館活動の社会教育プログラムへの協力、幼稚園での親支援、区市の児童家庭課の心理相談など多方面での臨床心理士による子育て支援の実情を共有し、支援の方法を研鑽した。 * 日本臨床心理士会子育て支援担当者連絡会の開催 目的と内容: 子育て支援に関する全国レベルの情報交換 家庭教育アドバイザー(文部科学省)に関する情報交換 参加人数、対象者: 都道府県の臨床心理士会子育て支援担当者: 50名強 開催数、方法: 2回、 平成14年9月6日、平成14年11月17日 効果、その他: 各県の臨床心理士会の取り組み状況の情報交換の実施神奈川県・長野県・鹿児島県などで家庭教育アドバイザーの配置開始、子育てサポーター(文部科学省)の研修・コンサルテーション・養成講座を臨床心理士が担った、などの情報共有した。	* 子育て支援研修会の継続実施 平成15年11月、子育て支援研修会を東京で実施予定 参加人数、対象者: 臨床心理士 約800名程度 * 日本臨床心理士会子育て支援担当者会議の継続実施 平成15年11月 臨床心理士会子育て支援担当者会議を開催予定 参加人数、対象者: 都道府県の臨床心理士会子育て支援担当者: 50名強 * 虐待に関する対応を検討課題とする予定 * 子育て支援に関連する課題へのさらなる取り組みの強化

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会	27.28.44.45.55.58.62.	<p>1 第2回母子保健推進員全国大会の開催 平成14年11月15日(金)佐賀市文化会館において本会議、佐賀県、佐賀市、全国母子保健推進員連絡協議会の主催、厚生労働省他20団体の後援により1,100名の母子保健推進員及び関係者を集め、開催した。 行政説明:国民運動「健やか親子21」の推進を厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 課長 谷口隆 思春期教育劇:「未来へ」 沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」 シンポジウム:「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」 司会:(社)母子保健推進協議会常務理事 原澤 勇 アドバイザー:NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子 講師:山口県母子保健推進協議会会長 林 タカ枝 富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田 民子 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間 歌子 長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中 晃子 佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀 裕子</p> <p>2 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成14年11月14日(木) 17:15~19:00 会 場:佐賀市文化会館 内 容:母子保健推進員活動報告 出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)</p>	<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62.</p> <p>1 社団法人母子保健推進協議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進協議会長表彰を行う。</p> <p>2 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>3 母子保健推進員教育事業 母子保健推進員研修会の開催</p> <p>4 本会議機関紙「母推さん」の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104~115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>5 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 (表題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>3 母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 母子保健推進員活動報告 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) ドメスティック・バイオレンスと女性の人権 8) 思春期保健 <p>4 都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。</p> <p>富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員会等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会 山口県母子保健推進協議会 佐賀県母子保健推進協議会</p> <p>5 本会議機関紙「母推さん」の刊行 母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」- 母子保健推進員だより - (タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号</p> <p>6 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と</p>	<p>6 母子歯科保健知識の普及活動</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表題〕ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布 <p>7 妊婦等禁煙運動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ポスターの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 <p>タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>8 子どもの事故防止推進事業</p> <p>9 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>主な内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 口腔清掃 2) 歯周病の原因と予防 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 <p>開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県</p> <p>(2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表題〕「乳幼児歯科保健指導のポイント」（歯科保健指導者のために） 〔制作数〕 1,600部 〔配布先〕 歯科研修会開催県及び参加者（専門職）</p> <p>(3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県の委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。 〔表題〕「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歯臼歯 〔制作数〕 81,000部 〔配布先〕 愛知県市町村及び歯科医師会</p> <p>(4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 〔表題〕「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」 〔制作数〕 750,000部 〔配布先〕 全国保健センター、各県研修会場</p> <p>(5) 歯科保健指導用パネル制作配布 〔表題〕 歯科保健指導用パネル 〔指導〕 (社)日本歯科医師会 〔制作数〕 725枚</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		(6) 母子歯科保健教材セットの配布 〔対 象〕 1.6歳児または3歳児 〔実施方法〕 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。 〔配布教材〕 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット、3歳児用歯ブラシとリーフレット 〔配布数〕 559,750セット 〔配布先〕 県(市)主管課または保健所 7 妊婦等禁煙運動の推進 (1) 妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。 1) ポスターの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 〔協 賛〕 明治乳業株式会社 〔後 援〕 社団法人 日本産婦人科医会 〔制作数〕 20,000枚 〔配布先〕 都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等 2) リーフレットの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕 86,000部 〔配布先〕 都道府県、関係諸団体等 3) クリアファイルの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕 15,000枚 〔配布先〕 研修会開催県及び参加者等	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>8 子どもの事故防止推進事業 子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。</p> <p>(1) 研修会の開催 鹿児島県 平成14年10月16日(水) 沖縄県 平成15年1月23日(木)</p> <p>(2) 誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行い、研修会及び一般マスコミを通して頒布活動を行った。</p> <p>9 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。</p> <p>(1) 研修会 延参加者数 1,288名 群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名 熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名 大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名 広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名 長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名</p> <p>(2) テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。</p> <p>テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部 規格: A5版、80頁、4色刷 著者: 佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		10 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康保険組合連合会、(財)健康・体力づくり事業財団、(社)全国保健センター連合会の後援により全国の行政や健康保険組合などで独自に制作、活用している手づくり教材を募集し、全国より63件の応募があった。さらに、他の模範となるよう表彰し、その成果を広く周知した。 厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのち・からだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元気いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市学校栄養士会ほか10席 エブロンシアター「三色の栄養エブロン」	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
70. 児童健全育成推進財団	46.48.	<p>子育て支援フォーラムの開催社会福祉・医療事業団から助成金を受け、「少子化対応全国キャンペーン事業」として、「少子化への対応を推進する国民会議」との共催で開催した。対象：子育て中の親、子育て支援関係者、児童健全育関係者、行政担当者等・中央フォーラム(長崎県佐世保市)平成15年1月31日～2月1日延べ3,600名参加</p> <p>・地方フォーラム 北海道岩見沢市 平成15年2月23日 900名参加 東京都港区 平成15年3月18日 100名参加 大阪府大阪市 平成14年11月27日 80名参加 福岡県福岡市 平成14年11月28日 80名参加 熊本県熊本市 平成15年1月25日 1,100名参加</p> <p>みんなで子育て研修会の実施こども未来財団との共催で、子育ての悩みや課題について解決策を探り、地域ぐるみで子育てをする環境づくりを考える研修会を実施した。(1地域2回コース) 対象：子育てに関心のある一般の方 北海道札幌市 平成14年7月5日、10月18日 111名参加 秋田県秋田市 平成14年7月14日、11月17日 106名参加 東京都豊島区 平成14年6月30日、11月 158名参加</p>	<p>子育て支援フォーラムの開催 昨年度に引き続き、社会福祉・医療事業団から助成金を受け、「少子化対応全国キャンペーン事業」として、「少子化への対応を推進する国民会議」との共催で開催する。 対象：子育て中の親、子育て支援関係者、児童健全育関係者、行政担当者等 ・中央フォーラム(愛知県高浜市)平成15年11月1日～2日 ・地方フォーラム 5都市で開催予定 みんなで子育て研修会の実施 昨年度に引き続き、こども未来財団との共催で、子育ての悩みや課題について解決策を探り、地域ぐるみで子育てをする環境づくりを考える研修会を実施する。(1地域2回コース) 対象：子育てに関心のある一般の方 6都市で開催予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
72. すくすく子育て研究会	46. 子育てに自信が持てるような支援の推進 世代間交流会(高齢者と保育園児)	46. * 研修会を実施 1) 目的(テーマ): 小児の感染症について、特に保育園・幼稚園の予防接種と登園許可について 参加人数(対象者): 100名(保育園職員や育児サークルの親など) 開催数: 1回(宮城県仙台市) 効果、その他: 感染症回復時の登園許可の理解と予防接種の重要性を理解したので実践することを期待している。 2) 目的(テーマ): タッチケア講習会...タッチケア指導者講習会に参加した会員が人形を使用して実技を指導した。 参加人数(対象者): 30名(保育園職員) 開催数: 2回(宮城県仙台市) 効果、その他: 母と子の絆を強める手段として、保育園児の母に実技を指導する保育園がみられた。 * すくすく通信の発行 目的(テーマ): 保育園職員と保護者、育児サークルなど子育て中の親および発行者側が同じ立場で、育児について、双方向性に、自由に発言する会報である。これにより読者に育児支援をする。 配布対象と枚数: 保育施設・育児サークル(50グループ) 保育園保護者・育児サークル(400枚) 効果、その他: 保育施設や育児サークルから、これからも配布を望む声が事務局に届いている。 * ホームページ「初めての赤ちゃん 子育てはこれでいいのかな」 目的(テーマ): 35年間、小児科医として、健康相談(育児相談)で経験したことをまとめた子育て支援のホームページ。 世代間交流会(高齢者と保育園児) * 老人保健福祉施設における保育園児との世代間交流会 目的(テーマ): 核家族化および孤立化した育児環境では子どもが老人と交流する機会が少ない。子どもと老人が交流することには両者にとりメリットがあるが、子どもに老人を敬い、且つ労わるなどの良い習慣を身につけさせる機会となる。 参加人数(対象者): 90名(保育園児) 開催数: 3回(青森県八戸市 老人保健施設南山苑との共	46. * 研修会を継続実施 前年と異なる内容: 開催数2回(宮城県仙台市で実施予定) 参加人員: 150~200名 * すくすく通信の継続発行 発行回数を年4回に増加する。青森県から沖縄県まで配布地域を拡大。 * ホームページの更新 保育園・幼稚園での健康管理(特に体調不良児と定期健診)についての項目を作成する。 世代間交流会(高齢者と保育園児) * 老人保健施設における保育園児との交流会 参加人員: 150名 開催数: 4回に増加する予定。 (青森県八戸市 老人保健施設南山苑で開催予
72. すくすく子育て研究会			

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
73.(財)こども未来財団	45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 46.子育てに自信が持てるような支援の推進 48.親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 60.栄養・食生活の改善	45. * 都市家庭在宅支援助成事業 家庭における育児相談等を行う児童養護施設等に対し、経費の助成 助成先 17か所 46. * 「i - 子育てネット」の運営 インターネットでの情報提供 「保育関連情報」・「子育て関連情報」等 年間アクセス総数 8,500,875 * 地域子育て研修事業 「みんなで子育て研修会」開催経費の助成 6か所 参加者総数 755名 「地域子育て支援者研修会」開催経費の助成 48. * 授乳コーナー・キッズルーム整備助成事業 不特定多数の人が利用する場所に対し、施設や設備の整備費の助成 授乳コーナー 41か所 キッズルーム 23か所 60. * 保育所等児童福祉施設の給食に関する専門誌、月刊「こどもの栄養」発行 年間発行部数 61,200部	15.45.46.48.60. 15. * 「いいお産」シンポジウム開催 平成15年11月3日 日本教育会館 45. * 都市家庭在宅支援助成事業 家庭における育児相談等を行う児童養護施設等に対し、経費の助成 助成先 17か所 46. * 「i - 子育てネット」の運営 インターネットでの情報提供 「保育関連情報」・「子育て関連情報」等 年間アクセス総数 12,000,000 * 地域子育て研修事業 研修会等への助成 48. * 授乳コーナー・キッズルーム整備助成事業 不特定多数の人が利用する場所に対し、施設や設備の整備費の助成 授乳コーナー 40か所 キッズルーム 20か所 60. * 保育所等児童福祉施設の給食に関する専門誌、月刊「こどもの栄養」発行

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
74.健康日本21推進フォーラム	60.栄養・食生活の改善	<p>*「健康日本21リーフレット」栄養・食生活シリーズの作成 目的：健康日本21地方計画の実施に際して、全国の栄養士、都道府県および市町村が住民啓発用に配布、活用できる栄養指導媒体の制作 企画・編集・発行：社団法人日本栄養士会 制作協力：健康日本21推進フォーラム 協賛：健康日本21推進フォーラム会員社 発売元：株式会社法研配布 対象先：47都道府県栄養士会、47都道府県担当部署 配布部数：18万部（初回無償配布） 初回分以降は頻布、1部30円 効果、その他：平成13年10月のNo.1の発行以来、現在までNo.12までシリーズとして発行されており、全国の栄養指導現場で活用されている。初回配布以後の頻布分でも、全国の各市町村などからNo.1～No.12までの累計で20万部が販売されて活用されている。</p>	<p>健康日本21推進フォーラムは、「健康日本21」を産業界から支援する目的で、1999年11月17日に設立された任意団体であり、62の企業・団体（2003年3月現在）が参加して活動を行っています。平成15年度より、「健康日本21」のみならず「健やか親子21」への支援も活動目的に付加し、本年度より取り組みを開始する予定です。 平成15年度の活動目標 1) 科学的根拠に基づいた健康情報の発信 2) 健康日本21推進全国連絡協議会及び健やか親子21推進協議会加盟団体との連携強化 3) 地方計画（都道府県・市町村計画）への支援活動 4) 会員社・団体による広報・広告活動の推進 本年度は、まず「健やか親子21」への認知・理解を深めて、企業・団体の立場からどのような支援が行えるかを模索していくことが活動の中心になります。予定されている活動は、下記です。 * 第三回会員総会（5/14）での特別講演「健やか親子21について」講演者：平山宗宏先生（健康日本21推進フォーラム理事に就任予定） * 健康日本21推進フォーラム講演会（年4回開催）「健やか親子21」に関連した講演を開催予定（時期、内容未定） * 自主研究会会員社による自主研究会活動において、「健やか親子21研究会」を設置する予定。 * 健やか親子21推進協議会との連携施策自主研究会などを通じて、どのような連携施策ができるかを検討していく予定。 * ホームページを活用した情報発信フォーラムのHPコンテンツの中に、「健やか親子21」に関連した</p>